2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	アビックス株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7836	URL	http://www.avix.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	岩切　敏晃
問合せ先責任者	（役職名） 管理部長	（氏名）	松田　昂平　(TEL) 045-670-7720
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	2,759	19.6	211	20.9	116	33.4	112	40.2	65	47.9
2026年３月期中間期	2,307	30.5	175	32.6	87	72.8	80	72.3	44	79.0

(注) 包括利益 2027年３月期中間期　67百万円(　24.9%)　2026年３月期中間期　54百万円(　453.4%)

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	1.87	―
2026年３月期中間期	1.27	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	3,364	2,053	60.5
2026年３月期	3,698	1,983	53.3

(参考) 自己資本 2027年３月期中間期　2,034百万円　2026年３月期　1,971百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	14.7	437	7.3	250	9.3	247	9.0	174	△25.0	4.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　　１社（社名） 合同会社ａｕａ　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	35,129,566株	2026年３月期	35,129,566株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	ー株	2026年３月期	ー株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	35,129,566株	2026年３月期中間期	35,129,566株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いた一方、物価上昇や為替変動、海外経済の動向及び地政学的リスク等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主たる事業領域であるデジタルサイネージ市場においては、商業施設や店舗等における販売促進のデジタル化に加え、データを活用したマーケティング施策の高度化などを背景として、デジタルサイネージの活用領域が拡大しております。

こうした環境のもと、当社グループは「デジタルサイネージ業界No.１」の実現に向け、スタジアム・アリーナや大型商業施設等で培ってきた導入実績を活かした案件獲得を進めるとともに、CMS「DiSi CLOUD」を中心とする運営・保守サービスの拡充に注力してまいりました。

また、機器の企画・設計・販売から、導入後のコンテンツ配信、運営・保守までを一体的に提供することで、顧客との継続的な取引関係の構築と収益基盤の強化に取り組んでおります。

当中間連結会計期間においては、主力のデジタルサイネージ関連事業が業績を牽引し、連結売上高は前年同期比19.6%増、営業利益は同33.4%増となりました。営業利益の伸長率は売上高の伸長率を上回り、増収増益を達成いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高2,759,217千円（前年同期比%増19.6%増）、営業利益116,349千円（前年同期比33.4%増）、経常利益112,955千円（前年同期比40.2%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は65,812千円（前年同期比47.9%増）となりました。

また、当中間連結会計期間におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業では、機器の企画・設計・販売に加え、CMS「DiSi CLOUD」を中心とした運営・保守サービス、コンテンツ配信及び販促支援サービスを提供しております。

当中間連結会計期間においては、スタジアム・アリーナや大型商業施設等を中心に幅広い分野での案件獲得を進めるとともに、既存顧客との継続的な取引関係の強化に取り組みました。

また、CMS「DiSi CLOUD」を中心とする月額利用型サービスの拡充を進め、継続的な収益基盤の強化を図ってまいりました。

当社グループでは、機器の企画・設計・販売による事業拡大に加え、導入後の運営・保守及びソフトウェアサービスによる継続収益を積み上げる事業モデルを強化しており、今後も顧客基盤の拡大と収益の安定性向上を目指してまいります。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高2,640,773千円（前年同期比21.4%増）、セグメント利益113,587千円（前年同期比49.9%増）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用、Web制作及びアプリ制作、AI・データ活用によるDX支援といったターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画、Web）制作及びソリューション提供により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。

当中間連結会計期間におきましては、デジタルサイネージ運用代行及びSNS運用代行を中心とするサブスクリプションモデルが堅調に推移したほか、AIを活用したシステム、スマートフォンアプリ及び統合データ基盤（DWH）の開発案件が要件定義から開発工程へと進捗いたしました。一方で、前年同期に計上したスポット案件の反動により、売上高は前年同期を下回りました。また、開発案件の推進に伴う外部委託費の増加及び事業拡大に向けた人員体制の強化により、セグメント利益は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、Value creating事業は、売上高118,444千円（前年同期比10.6%減）、セグメント利益2,761千円（前年同期比76.0%減）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産は、3,364,703千円（前連結会計年度比333,422千円の減少）となりました。
その主な要因は、売掛金及び仕掛品が減少したことによるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債は、1,310,718千円（前連結会計年度比403,993千円の減少）となりました。
その主な要因は、買掛金及び前受金が減少したことによるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産は、2,053,985千円（前連結会計年度比70,571千円の増加）となりました。
その主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,134,314	1,086,494
受取手形	18,555	－
電子記録債権	91,507	79,449
売掛金	1,225,718	1,063,725
商品及び製品	304,710	289,591
仕掛品	79,289	24,167
原材料	3,904	3,553
前渡金	263,619	240,439
その他	41,308	35,651
貸倒引当金	△359	△306
流動資産合計	3,162,569	2,822,766
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	21,139	23,649
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	154,524	152,451
レンタル資産（純額）	15,018	65,718
有形固定資産合計	190,682	241,818
無形固定資産		
のれん	276,842	223,260
その他	12,217	8,087
無形固定資産合計	289,059	231,347
投資その他の資産		
投資有価証券	52,692	43,978
繰延税金資産	4,066	4,441
その他	21,855	42,751
貸倒引当金	△22,800	△22,400
投資その他の資産合計	55,814	68,770
固定資産合計	535,556	541,937
資産合計	3,698,125	3,364,703

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,646	410,874
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	122,900	107,900
未払法人税等	15,538	29,986
賞与引当金	38,503	41,985
前受金	120,686	53,301
その他	128,422	128,831
流動負債合計	1,436,697	1,072,879
固定負債		
長期借入金	108,300	58,100
繰延税金負債	7,348	20,891
預り保証金	150,000	150,000
その他	12,364	8,846
固定負債合計	278,013	237,838
負債合計	1,714,711	1,310,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	615,454	615,454
利益剰余金	139,329	205,142
株主資本合計	1,962,348	2,028,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,976	3,801
繰延ヘッジ損益	4,565	2,279
その他の包括利益累計額合計	9,541	6,080
非支配株主持分	11,524	19,744
純資産合計	1,983,414	2,053,985
負債純資産合計	3,698,125	3,364,703

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	2,307,789	2,759,217
売上原価	1,686,727	2,038,462
売上総利益	621,061	720,755
販売費及び一般管理費	533,820	604,405
営業利益	87,240	116,349
営業外収益		
受取利息	1,019	1,379
受取配当金	183	195
持分法による投資利益	－	327
貸倒引当金戻入額	1,000	400
その他	6	－
営業外収益合計	2,208	2,302
営業外費用		
支払利息	2,020	3,981
持分法による投資損失	5,747	－
為替差損	12	258
消費税差額	1,101	1,457
営業外費用合計	8,882	5,697
経常利益	80,565	112,955
特別損失		
弔慰金	10,000	－
特別損失合計	10,000	－
税金等調整前中間純利益	70,565	112,955
法人税、住民税及び事業税	13,245	22,334
法人税等調整額	5,297	16,519
法人税等合計	18,542	38,853
中間純利益	52,022	74,101
非支配株主に帰属する中間純利益	7,514	8,289
親会社株主に帰属する中間純利益	44,508	65,812

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	52,022	74,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,185	△1,175
繰延ヘッジ損益	△123	△5,355
その他の包括利益合計	2,061	△6,530
中間包括利益	54,084	67,571
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	46,632	61,959
非支配株主に係る中間包括利益	7,452	5,611

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	70,565	112,955
減価償却費	34,564	42,052
のれん償却額	53,582	53,582
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5	△53
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,860	3,482
受取利息及び受取配当金	△1,202	△1,575
支払利息	2,020	3,981
持分法による投資損益（△は益）	5,747	△327
売上債権の増減額（△は増加）	340,592	192,607
棚卸資産の増減額（△は増加）	83,213	70,592
仕入債務の増減額（△は減少）	△172,516	△299,771
前渡金の増減額（△は増加）	31,000	23,179
前受金の増減額（△は減少）	△95,309	△67,385
その他	△5,648	3,143
小計	344,745	136,463
利息及び配当金の受取額	1,202	1,575
利息の支払額	△1,952	△3,070
法人税等の支払額	△30,260	△7,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,735	127,222
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,998	△97,973
無形固定資産の取得による支出	△2,000	－
投資有価証券の取得による支出	△754	△764
投資有価証券の償還による収入	1,000	400
差入保証金の差入による支出	－	△14,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,753	△112,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△78,625	△65,200
非支配株主からの払込みによる収入	－	3,000
リース債務の返済による支出	△2,228	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,853	△62,200
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	202,127	△47,820
現金及び現金同等物の期首残高	661,416	1,134,314
現金及び現金同等物の中間期末残高	863,544	1,086,494

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額（注１）	合計
	デジタルサイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	2,175,274	132,514	－	2,307,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,307	2,760	△4,067	－
計	2,176,581	135,274	△4,067	2,307,789
セグメント利益	75,754	11,486	－	87,240

（注）１　セグメント売上高の調整額△4,067千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント利益の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３　セグメント利益は、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		調整額（注１）	合計
	デジタルサイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	2,640,773	118,444	－	2,759,217
セグメント間の内部売上高又は振替高	699	26,721	△27,420	－
計	2,641,472	145,165	△27,420	2,759,217
セグメント利益	113,587	2,761	－	116,349

（注）１　セグメント売上高の調整額△27,420千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

２　セグメント利益の調整後の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３　セグメント利益は、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。